

# THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

ロータリーの未来はあなたの手の中に  
The Future of Rotary Is in Your Hands  
国際ロータリー会長 John Kenny



世界にも目を向けよう  
Reaching Out to the World  
富津中央RC会長 志波 克

2009～2010

国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12  
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

## No.2126 第10回例会 2009. 9. 10 晴

点 鐘：志波 克 会長  
進 行：原田雅式 クラブ管理運営委員長  
ソング：手に手をつないで

### 会長挨拶

志波 克 会長



日本人は実用的な技術には優れているが純粋理論は得意でないと言われ、原因として緒論ありますが、その一つに日本人の精神的バックボーンとなっている儒教の教えが挙げられて居ます。

釈迦、孔子、ソクラテス、イエスの四人が世界の四聖と呼ばれるそうですが、その中で孔子だけは神秘主義的色彩が無く、徹底した現世肯定と現世適応の教えを説いているのだそうです。従って、孔子の影響を強く受けている日本人は現実離れた純粋理論が不得意というわけです。

今日勉強会で取り上げる「決議23-34」も一種

の純粋理論で何となく日本人には発想出来がたい感じですが、読めば直ぐに肯定し、適応したくなります。

私自身これこそロータリーの心と思い、これを変更する趨勢が出てくるとは思いもしませんでした。

儒教の影響を受けている日本のロータリアン、特にロータリー歴の長いロータリアンには「決議23-34」を熱愛する人が多く、そこから色々な話題が出てきました。

そういうわけで、「決議23-34」を中心としてロータリーの歴史を話し合う今日の勉強会は楽しみにして下さい。

### 会長報告

① 次週は山田ガバナー補佐のご来訪、次次週はガバナー訪問ですので、万障差し繰り全員出席をお願いします。

尚、次週は外部卓話者の予定もあり、時間が逼迫しますので、早めに来て食事を済ませて下さい。

② 当クラブの会報を載せているウェブページが、ロータリー・ジャパンのリンク集に入りましたのでご覧下さい。

〒293-0042 富津市小久保2868  
さざ波館 Sazanami-kan  
2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken,  
Zip code 293-0042  
Tel.0439-65-3373 Fax 0439-65-3304  
URL <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~fcr>



## 幹事報告

平川恵敏 副幹事



皆さんこんにちは、本日は榎本幹事の代わりに幹事報告をさせていただきます。本日の報告は以下の2点でございます。

1. 第39回君津地方英語コンテストプログラムが送付されました。
2. 日本赤十字社より「赤十字活動資金への協力のお願い」の案内が送付されてきました。ご協力よろしくお願いします。

## 委員会報告

### まるごみ09'について

渡辺 務 奉仕プロジェクト委員



「県内のポイ捨てごみを全部拾おう」をスローガンに年1回のゴミ拾いフェスティバル「まるごみ09'～100年たっても地球と仲良し」が、まるごみ実行委員会主催のもと、千葉県一斉に9月19日(土)に開催されます。

富津市では富津市総合体育館、市民ふれあい公園ビジターセンター及びイオンモールを集合場所とし、午前9時集合、11時終了の予定で開催しま

す。皆様のご理解ご協力をお願いします。

詳しい内容はインターネット(<http://marugomi.jp>)でも確認できます。

## 新入会員研修会 兼 情報研究会

### 奉仕の変遷と決議23-34

志波 克 会長



御承知のように、ロータリーは1905年(明治38年)ポール・ハリス等4人の集まりが基となって、シカゴで発足しました。

最初、会の目的は「実業人が友愛の気持ちを持って親しみ合い、仕事の上での知り合いの輪を広げていくために、定期的に集まる会を作る」ということでした。

やがて、会の目的に社会への「奉仕」が加えられ、クラブ数や会員数も急速に増加し、1910年には全米でクラブ数16、会員数1500人に達しました。

親睦と互惠のみが目的であった所に「奉仕」が加わり、論争が始まりました。奉仕そのものの是非、そして奉仕を個人であるのか団体であるのかの問題、更に金銭的奉仕の是非、等々についてです。

1923年のセントルイス大会で「綱領に基づく諸活動に関するロータリーの方針」というサブ・タイトルのついた「決議23-34」が採択され、この論争に終止符が打たれました。

1926年のデンバー大会において、決議23-34のタイトルが「社会奉仕に関するロータリーの方針」と改正されました。当時の社会奉仕の定義は「個人生活、職業生活、社会生活全般にわたって奉仕の理想を適用する」となっていて、現在より広義です。

その後国際大会で何度か(23,26,36,51,66年)字句の改正が行われ、単に社会奉仕活動の指針とし

だけでなく、ロータリー活動全般に関する指針として存在してきました。

1980年頃から奉仕活動が大型化しはじめ、3H運動、ポリオ・プラス運動等地球規模の奉仕が始まり、団体奉仕が前面に出てきました。そして団体奉仕活動を推奨していない「決議23-34」が邪魔になりはじめ、1984年版の「手続要覧」から削除され、廃案の動きが始まりました。

日本人のRI理事の努力により、1992年の規定審議会で「決議92-286」が「決議23-34」を含む形で採択され、「決議23-34」は歴史的価値を有するものとして、現在も(2007年版)手続要覧に記載されています。

### 小耳に挟んだお話 (ポリオに関わる話題)

石渡 鋼 奉仕プロジェクト委員長



先ほど志波会長のお話の中にロータリー奉仕活動でポリオ撲滅の為に募金のお話がありましたので、関連でお話いたします。

数日前自宅のTVを見ていると、筑波研究学園都市で、2000名に及ぶ外国の研究者の日常生活のお世話をボランティアでされている方の紹介がありました。

インドより来日されている研究者の奥さんが、子供にポリオのワクチンを飲ませるのに(5から6回のこと)帰国を余儀なくされていることを聞き、日本にはもうポリオ菌は存在しないことを助言してあげたとのことでした。

一時、世界から撲滅されたと聞いた気のするポリオですが、実際にはまだまだポリオの話題がなくなるものだと思います次第です。

蛇足ですが、あのビルゲイツ財団の医療関係の寄付金(1兆円弱)のうち、250億円を超える金額がロータリーのポリオ撲滅に寄付されているそうです。

ちなみに彼の父君がシアトルロータリークラブのメンバーで彼自身も、他クラブの名誉会員とのことようです。

### 市政報告について

渡辺 務 奉仕プロジェクト委員



富津市議員である渡辺務委員より最近の市政状況について報告がなされました。

主な話の概要は、

① 直近の衆院選において、直接国政選挙とのかかりのない市議員がどのように選挙とかかわっていたかの苦労話。

国の緊急経済対策を盛り込んだ総額15兆円規模の09年度補正予算決定後に、富津市としては諸々の具体的な整備計画に国から交付される予算を充てる執行段階にあったが、政権

② 交代を受け、即実施すべきかどうか、さらに状況を見ながらどのように扱うべきかの論議がなされていること等。

③ 今までは自民党政権の影響力が浸透している中で、政権交代による新政権の新たな指導のもとで、新政権とどのような折り合いをつけていくべきか、現状は様子見の状況が本音とのこと。

## 「ロータリーの友」を読んで

平川恵敏 副幹事



千葉クラブ会報・広報委員長の、各会員が「ロータリーの友」、「ガバナー月信」を読んで、その感想を例会で5分間スピーチするようにとの実行目標に対し、平川副幹事が千葉委員長の意を受けて、「ロータリーの友」9月号の「自然と人」を読んだ読後感を述べられました。

特に横井庄一さんが28年間もジャングルの中で耐乏生活をしてきたことの驚きと、ジャングルの厳しい環境と向き合い、その環境に適応してきた横井さんの強靱な精神力には、現代の文明に慣らされている我々にとっては想像を超える営みであると感じ、自然の秩序と厳しい自然の法則に溶け込んで生きてきた一人の人間の適応力に感動したとのこと

## ニコニコ BOX

大須賀三智男 親睦担当委員



渡辺 務 皆さんお久しぶりです。

大須賀三智男 息子の誕生日につき

合計2,000円

## 出席報告

高橋裕之 出席担当部長

区分	会員数	出席	欠席	MakeUp	出席率
今回	21	17	4	0	80.95%
前回	21	18	2	1	90.47%

## 編集後記

お詫び

先週号の須藤隆委員による「ドレスデン・プラハを旅して」の卓話の中で掲載されていた「再建されたフラウエン教会」の写真がフラウエン教会から数百メートル離れた「カトリック旧宮廷教会」と取り違えて掲載されていました。

改めてフラウエン教会の写真に掲載させていただき、誤掲載をお詫び申し上げます。(須藤 隆)

再建されたフラウエン教会

